

平成 30 年度 医療安全管理部 包括的公表

医療安全管理部
医療安全管理室

海南病院では医療安全対策に関する事案の包括的公表を行っています。

1. 目的

: 患者の知る権利を保障し医療の透明性を確保するため、更に職員に医療安全の意識の向上と事故の再発防止に役立てることを目的とする。

2. 対象

: 報告の対象となるものは、患者の生死にかかわる極めて重大なものに限らず、院内で発生したすべてのインシデント・アクシデント、予期しない薬剤などによる重大な副作用や、広く社会に警笛を鳴らす意義が大きいと考えられる報告もその対象としている。

3.

(公表基準に基づき、平成 30 年度集計結果を公表。)

1) 平成 28 年度 医療安全報告件数

区分	レベル 0	レベル 1	レベル 2	レベル 3 a	レベル 3 b	レベル 4	レベル 5
報告件数	4081 件					3 件	

平成 30 年度

事象別分類

事象内容	30 年度件数	構成比	29 年度件数	増減対比
薬剤関連	906	22.2%	984	-78
輸血	15	0.4%	10	5
治療・処置	214	5.2%	196	18
医療機器・用具	86	2.1%	127	-41
ドレーン・チューブ	847	20.7%	1085	-238
検査関連	279	6.8%	323	-44
療養上関連	1463	35.8%	1248	215
物品搬送	2	0.0%	4	-2
放射線管理	0	0.0%	0	0
診療情報管理	238	5.8%	161	77
患者・家族の説明	28	0.7%	23	5
施設・設備	6	0.1%	7	-1
その他	0	0.0%	0	0
合計	4,084	100%	4,168	-84

5. まとめ

平成 30 年度は報告件数が増加し、職員の安全に対する意識が向上していると考えられた。影響レベル別では、レベル 5 を 3 件とした。うち 2 件については医療事故審議委員会を開催し検討した結果、病状の進行に伴う死亡と判断した。

1 事例は入院中の転倒による頭部外傷であり、外傷により新たな治療が発生し、残念ながら後日死亡に至った。本事例のように、転倒による外傷で入院の延長や新たな治療が発生し、重篤な経過を辿る場合があるため、転倒・転落防止対策を強化

することは喫緊の課題と考えている。

現在当院では、多職種による転倒・転落防止対策チームを発足し、環境ラウンドやせん妄評価を行い、事前に危険を予知し、事故の更なる予防に努めており、安全・安心な病院として信頼を得られるよう努力している。